

長野看護専門学校存続に向けての支援に関する請願

令和 7 年 2 月 26 日

長野市議会議員 西沢 利一 様

〒380-0928

長野市若里七丁目 1 番 5 号

一般社団法人長野市医師会

会長 釜田 秀 明

紹介議員

平 泉 正 樹 倉 野 玄 人
 小 泉 栄 正 鈴木 洋 一
 若 林 祥 和 日 俊 弥
 堀 内 伸 悟 山 崎 昭 夫
 小 泉 一 真

長野看護専門学校存続に向けて請願させていただきます。

長野市医師会では、地域医療充実を目指し看護職員養成事業を会の重要施策の一つとして掲げ、長野看護専門学校を運営し、第 1 看護学科（3 学年・定員 120 名）、第 2 看護学科（3 学年・定員 120 名）、准看護学科（2 学年・定員 80 名）を設置し、現在、197 名の多数の学生が資格取得を目指し学んでおります。

しかし、令和 2 年度以降、入学者が減少傾向となり、令和 5 年度からは定員の 7 割を下回る状況となりました。現在は、長野県及び長野市並びに長野県医師会からの補助金交付も受け、学校運営をしておりますが、経営は厳しく本会法人会計からの繰入を行い、何とか経営しているのが実情でございます。また、築 50 年を超えます校舎の設備改修が継続的に必要であり、このことも、学校経営の大きな負担となっております。

今後の 2040 年問題を見据えますと、看護人材の確保は重要であり、優秀な看護人材養成の必要性は、ますます高まっております。ここ数年、本市の複数の大学に看護学部が設立されましたが、その卒業生の多くは県外に就職しているという現状です。その一方で、本校の卒業生の市内への就職率は非常に高く、市内にとどまらず、長野地域、北信地域への看護人材の確保を確実に行うためには、長野看護専門学校の存続は必要不可欠と考えています。加えて、高卒者だけでなく社会人も入学できること、また、働きながら看護師及び准看護師資格の取得を目指すことのできる本校は、幅広く人材を求めることができ、優秀な人材確保にもつながります。

地域で働く看護人材を確保するためには、その地域の看護専門学校で優秀な学生を確保し、育成することが重要です。そのためには看護専門学校の存続と安定した経営が求められており、本会としましては、更なる経営改善に取り組む所存ではありますが、公立化等も視野に入れた運営の抜本的な見直しを図っていく必要があると考えます。しかしながら、本会だけでは解決が困難な課題もあることから、次の事項についてお願いいたします。

(請 願 事 項)

- 1 長野看護専門学校の存続と安定した経営に向けて、抜本的な見直しを行うため、市及び関係機関を含めた検討の場を設置すること。